



2011年5月20日号

号外

(民主党宮城県参議院選挙区第1総支部版)

民主党プレス民主編集部

〒100-0014

東京都千代田区永田町1-11-1

電話03-3595-9988(代表)

press@dpj.or.jp

http://www.dpj.or.jp

参議院議員 外山イツキ

いっき通信



がんばろうNIPPON ～支え合う心の連帯で一日も早い復興を～

3月11日に発生した東日本大震災により尊い命を失われた多くの方々に衷心より哀悼の意を表しますとともに、被災された皆さまに対しまして心よりお見舞いを申し上げます。

東北を中心に東日本を襲った大地震と大津波は一瞬にして、多くの尊い命を奪い、人々が生活を営んでいた土地を壊滅的に破壊しました。今回の大震災は、死者1万4949名、行方不明者9880名(5月11日時点)という我が国において戦後最大の自然災害であり、2ヶ月を過ぎた今でも甚大な傷痕を人々の心や故郷に残しております。

また、同時に東京電力福島第一原子力発電所が被災し、放射性物質が外部に放出される原発事故まで発生し、現在も安定化には至っておりません。国も電力会社も放射性物質の拡散を防ぐ為に全力をあげておりますが、原子炉安定化には長期戦が予想され、多くの方々に不安や様々な影響を与えております。

震災発生当時は午前のテレビ入り質問を終え、参議院第一委員会室で決算委員会に出席しておりました。あまりにも大きな揺れだったので、被害が大きいのではないかと予想はできましたが、大津波が襲い、多くの町が壊滅的なダメージを受ける程の被害になるとは思いもしませんでした。

その後、私も宮城県・福島県と二度、被災地を訪問させていただきましたが、被災地の状況は、想像を絶するような悲惨な光景がありました。(本通信の2面・3面の写真をご参照下さい。また活動報告は「いっきブログ」に載せておりますので併せてお読み下さい。)



3月11日 参議院決算委員会全般質疑にて

5月16日には三度目の被災地入りを予定しておりますが、国会議員として、現場の声を聞かせていただき、一つでも多く被災者を救う法律を成立させる事が我々の職責でありますので全力で取り組んで参ります。

5月2日には、無事に復旧・復興の為の第一次補正予算が成立しました。この国難といえる状況に、与野党の垣根を越えて、官民の総力を挙げて「オールジャパン」の体制で対応し、被災地と日本の復興を成し遂げなければなりません。

がんばろう NIPPON !!

5月11日



立っています

県内各地に立っている外山イツキ議員を見かけたら、ぜひ声をかけて下さい。

訪ねます



2人～3人でも結構です。暮らしや政治の問題について一緒に話しませんか。あなたの街に外山イツキ議員を気軽に呼んで下さい。

東日本大震災視察報告

1000年に一度とも言われる東日本大震災が3月11日に発生しました。外山議員はこれまでの間で2度、被災地に入りました。1度目は、避難所マップ作成のための情報収集を目的として、震災発生後8日目の3月19日に山形県側から宮城県内に入り翌20日にかけて七ヶ浜町、東松島市、石巻市、仙台市の被災地を回りました。2度目は、4月4日、5日の日程で原発対応と医療関係を含めた現地の状況調査並びに慰問等で福島県入り。日本歯科医師会との連携で、歯科医師会からの支援物資を届けました。また、原発から20km圏内の最前線であるJ・ピレッジで活動している自衛隊と東電職員から状況説明を受けるとともに、激励を行いました。

3月19日～20日 「東北関東大震災 被災地入り」(宮城県七ヶ浜・石巻・東松島・仙台)



七ヶ浜町長から状況説明を受ける



七ヶ浜町の被災状況



津波被害の調査



避難所となっている蛇田中学校の校長先生から要望を受ける



石巻市の被災状況



石巻市の被災状況



石巻市の被災状況



石巻市の被災状況



石巻市の被災状況



住民の方から津波発生時の状況説明と要望を伺う



石巻市の被災状況



石巻市の被災状況

全閣僚出席の決算委員会全般質疑にて質問 ～口蹄疫対策と支援、新燃岳災害などを取り上げる～

東日本大震災が発生した3月11日の午前中に平成21年度決算に関する全般質疑を議題とする決算委員会が開催され、外山議員が質疑に立ちました。質問では、地元・宮崎県内でいただいた意見などを披露しながら、平成21年度決算報告の内容と不適正経理問題、ワクチン接種による子どもの死亡事故問題、口蹄疫に関連して水際対策と預託農家への支援、新燃岳噴火災害への対応・支援などについて取り上げ、菅総理大臣をはじめ各担当大臣に対して早急に適切な対応を求めました。その後、午後2時46分に大震災が発生したため、決算委員会は急遽閉会とされました。



4月4日～5日

「福島視察」



J・ビレッジにて自衛隊から除染手順について説明を受ける



金子・福島県歯科医師会会長から説明と要望を聞く

◀民主党福島県連から状況説明を受ける



政府の現地対策室にて吉田泉財務政務官と協議



中山義活経済産業政務官に要望を伝える



二本松市といわき市の避難所に救援物資を届け慰問



避難所で活動中の自衛隊員を激励



J・ビレッジでのスクリーニング作業を激励



J・ビレッジにて自衛隊の活動状況の説明を受ける



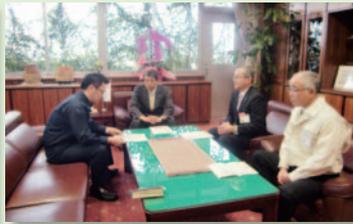
J・ビレッジの東京電力からの状況説明

高病原性鳥インフルエンザ・新燃岳噴火災害への対応と支援のために奔走

1月22日に宮崎市で鳥インフルエンザ疑似患畜の1例目を確認されたのを始めとして、3月中旬までに県内で13例の高病原性鳥インフルエンザが発生しました。外山議員は、1例目の発生初日から現地視察など精力的に行動し、まん延防止と農家や関連産業などへの支援が充分に行われるよう宮崎県や政府と連携して対応に努めました。



1月22日 松木農林水産大臣政務官来県



2月2日 宮崎市鳥フル対策本部にて戸敷市長と協議



2月6日 鳥フルが発生した門川町、高千穂町、都農町を訪問して協議



2月9日 鹿野農林水産大臣に鳥インフルエンザ対策について申し入れ



2月10日 民主党高病原性鳥インフルエンザ対策本部が枝野官房長官、鹿野農林水産大臣への鳥インフルエンザ対策と支援について申し入れ



2月26日 岡田克也民主党幹事長来県川南町にて現地調査

また、1月27日に新燃岳が爆発的噴火を起こし、現在でも噴火活動は継続しています。この噴火による降灰などの災害により、宮崎県内の広範囲で農作物への被害や観光などに様々な影響が出ています。外山議員はこうした現状を政府に伝えるとともに、宮崎・鹿児島両県の国会議員と連携して、災害への対策・様々な支援の実現に奔走しました。



2月3日 民主党宮崎・鹿児島県連「新燃岳噴火合同対策本部」で協議



2月11日 民主党「新燃岳噴火対策連絡室」視察にて都城市との協議



1月29日 松本防災担当大臣とともに河野県知事と協議



1月29日 高原町災害対策本部を大畠国土交通大臣と訪問し協議



2月12日 松本防災担当大臣と高原町を視察



2月15日 河野県知事、中村県議会議長と鹿野農林水産大臣に農作物被害への支援を要望



2月1日 高原町の災害避難所を訪問



2月2日 松木農林水産大臣政務官と農作物への降灰被害状況を視察



2月15日 河野県知事、中村県議会議長と松本防災担当大臣に災害対策関連の支援を要望



2月18日・22日 民主党「新燃岳噴火対策連絡室」で協議



2月27日 海江田経済産業大臣と都城市災害対策との意見交換に同行

連絡先：〒880-0013

宮崎県宮崎市松橋1丁目16-11 カルナコート1F
 民主党宮崎県参議院選挙区第1総支部
 参議院議員 外山イツキ 事務所

<http://www.izki-toyama.com>

いつきブログ毎日更新中!! 「いつきブログ」で検索!!

いつきブログ 検索